

自動二輪科 MT（学科免除）

入校から卒業まで 教習の進め方

当校をご利用いただき誠に有難うございます。

教習の進め方は、皆さんが順調に教習を進めていただけるよう、実際の教習にそって作成しております。教習を進める都度、この教習の進め方に進度を記入してください。“次に何をすれば良いのか”が教習の進捗と並行し、理解していただけるようになっています。

当校は千葉県公安委員会の指定を受けた公認の自動車学校です。法令により様々な制約を受けておりますので、教習の進め方だけではわからない点もあるかと思しますので窓口で遠慮なくお問い合わせください。

早く自動車学校に慣れ、1日でも早く安全な運転者として卒業していただけることを願っております。

内容は、平成25年8月1日現在によるもので変更される場合もあります。

千葉県公安委員会指定

実地試験免除

公認 **やちよ中央自動車学校**

〒276-0046 Tel 047-484-8341
千葉県八千代市大和田新田211
<http://www.yac8341.co.jp/>

入 校 日 の 日 程

	入 校 日	日 曜 日 ・ 水 曜 日	金 曜 日
ご 挨拶		AM. 9 : 10 }	PM. 5 : 10 }
教習の進め方について		AM. 9 : 25 }	PM. 5 : 25 }
		AM. 10 : 00	PM. 6 : 00

入校式では、挨拶に続き、おもに教習の進め方についてご説明いたします。

この「教習の進め方」は、学科免除の方を対象にしております。技能教習とセットの学科を除き学科教習は免除です。

(大型二輪教習の普通二輪免許所持者はセット学科ありません。)

運転適性は学科免除のみなさんも受ける必要があります。入校後早い時期に受講していただく必要があります。学科予定表「適性」と書かれた時間に実施します。予約は必要ありません。教習原簿を持って時間に遅れないよう教室に入っていたいただければ受けられますので、早めに受講してください。

この「教習の進め方」は、大型自動二輪、普通自動二輪、普通自動二輪小型限定について記載しております。教習車種および所持免許によって内容が異なる場合は、別々に記載しておりますので、該当欄をご覧ください。特に断りのない場合は共通です。

車種・所持免許の表記について

- ・「普通二輪」は限定無し（総排気量400CC以下）と小型限定（総排気量125CC以下）および、AT限定を含めます。分ける必要がある場合は「普通二輪限定無し」または「普通二輪AT限定」、「普通二輪小型限定」、「普通二輪小型AT限定」と表記しております。
- ・「普通二輪小型限定」は「小型二輪」、「普通二輪小型AT限定」を「小型AT 二輪」と表記させていただく場合があります。

入 校 式

～最初の技能教習予約

～送迎バス利用の注意

〈 〈 〈 〈 〈 受けられる教習 〉 〉 〉 〉 〉 〉

☆ 学科教習 運転適性

★ 技能教習 入校式のときにお取りします

最初の技能教習予約

- 技能教習は予約制です。最初の予約は入校式終了後、窓口でお取りします。10日程度先までのご自身の日程を時間単位でメモしてきてください。

送迎バス利用について

- 無料の送迎バスを各方面に運行しております。時刻表は受付に用意しております。ご利用方法は受付でお問い合わせください。
- 時刻通りの運行を心がけております。予定時刻より早く通過することはありませんが、道路状況によっては大幅な遅れが生じ、やむを得ず迂回する場合があります。5分以上待ってもバスが来ない場合は、お手数ですが学校へ電話連絡してください。無線で運行状況を確認し、お知らせします。なお、連絡の際はバスコースの見えるところをお願いします。電話をしているあいだに行ってしまった例も見うけられます。
- 時間に遅れそうな場合は、送迎ドライバーが教習内容をお伺いしますので遠慮なく申し出てください。教習が受けられない場合でもキャンセル料が掛からないよう処理しております。
- キャンセル待ちは、所定の時間に間に合わないときは、送迎バスご利用の場合でも入力できません。ご了承ください。

教 習 の 期 限
～教習の期限
～卒業検定までの期限
～卒業証明書の期限

教習の期限

- 教習の期限は教習開始日から9ヶ月です。（技能審査は3ヶ月）教習開始日とは最初の技能教習を受けた日が教習開始日となります。
- 教習有効期限は法令により定められた期限であり、延長することはできません。
- 教習の有効期限までに、技能教習第2段階のみきわめが「良好」にならなければなりません。これは卒業検定に合格しなければならない期限とは異なります。
- 9ヶ月は長いと感じるかもしれませんが過ぎてみると短いものです。日程の都合で時間の取りづらい方も、長い期間ブランクを空けることのないよう欠かさず進めることが卒業への近道です。1ヶ月、2ヶ月と空いてしまう方に期限が切れてしまう方がいらっしゃいます。
- 教習期限が切迫してしまった場合は、受付にご相談ください。参考となるアドバイスができると思います。

卒業検定までの期限

- 卒業検定までの期限は技能教習第2段階の総合みきわめが「良好」となった日から3ヶ月です。技能教習第2段階の総合みきわめが「良好」となると教習はすべて修了したことになりますのでそれまでの有効期限とは関係がなくなります。従って、みきわめが「良好」となった日から3ヶ月以内に卒業検定に合格しないとそれまでの教習はすべて無効となってしまいます。

卒業証明書の有効期限

- 卒業検定合格の日から1ヶ年です。この期限を過ぎると、卒業証明書は無効となり、実地試験免除の適用が受けられなくなります。（審査は3ヶ月）

学科教習と教習原簿

～教習原簿

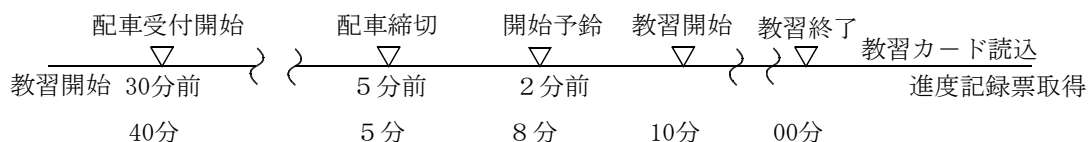
教習原簿

- 技能教習、学科教習とも受講した内容はすべて教習原簿に記録し、それまで受けた教習の証となります。教習原簿を紛失するとそれまでの教習はすべて無効となります。教習終了後は速やかに原簿返却箱に返却してください。
- 教習原簿は原簿ラックに保管しております。教習生カードの白色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。各自の原簿が3 cm程度出ます。ご自分の教習原簿に間違いがないか教習生番号、氏名をよく確認してください。教習原簿取り出し後、教習生カードを忘れる人が多くいらっしゃいます。忘れずにお持ちください。
- 教習原簿は、教習生番号毎のプラスチック製ホルダーに入れてあります。ホルダー背にある爪によって原簿が検索されます。爪が折れると原簿が出ず教習が受けられない場合がありますので、破損してしまった場合は速やかに受付にお申し出ください。故意にホルダーを破損した場合は500円を申し受けます。
- 住所、氏名等は、現有免許証または住民票に基づき記載しております。記載内容に誤りや変更がありましたら、決められた手続きに従って訂正します。ご自分で訂正、加筆せず速やかに受付に申し出てください。また教習原簿の記載事項に誤りがあっても、各自で訂正加筆すると教習が無効になる場合もありますので、ご自分で訂正しないで速やかに受付に申し出てください。

技能教習

- 技能教習は予約制です。「予約の取り方」（別途記載）に従ってお取りください。なお最初の技能教習予約は、入校式のときにお取りします。
- 技能教習を受ける際は、教習開始5分前までに配車機で配車の手続きをし、配車券を取得していただきます。教習開始前でも配車の締め切りの時間に遅れると無断キャンセル扱いとなり教習が受けられず、また、キャンセル料がかかります。
- 技能教習を受ける際は、運転しやすい服装、はきもの、免許条件にあった用意がないと教習が受けられません。
 - ・ヘルメット 「PSCマーク」のついたもの。「125cc以下限定」と「排気量無制限」の2種類の基準があります。教習車種にあったヘルメットを用意してください。
 - ・手袋 できるだけ革製のグローブ、または、二輪専用のグローブ。
 - ・靴 大型二輪はできるかぎりくるぶしが隠れる二輪用ブーツ。低いかかとのある（靴底が平らでない）通常の靴で代用可。足でレバーを上下しギヤチェンジするのに支障のないもの。
 - ・服装 転倒時のけが防止のため、長袖、長ズボンで動きやすい服装。靴下はくるぶしが露出しないもの。雨天でも教習を行います。雨天の際は、雨具を用意してください。
 - ・教習の条件 原簿に教習の条件が記載されている方は、眼鏡やコンタクトなどを着用しないと技能教習が受けられませんのでご注意ください。
- 技能教習は、2段階に分かれております。各段階の最後に習得状況の確認「教習効果の確認」（みきわめ）が行われ、結果が良好でないと次の段階に進むことができません。
- 技能教習2段階みきわめが「良好」となった当日に、別の予約がある場合は教習終了後速やかに申し出てください。
- 翌日以降の予約で自由教習を受けない場合は、各自キャンセルの手続きをしてください。前日PM. 5:00を過ぎ、キャンセル料がかかってしまう場合は、係員に申し出てください。
- 1段階は1日2時限を越えて受けることはできません。2段階は1日3時限まで教習できます。ただし、3時限連続教習はできません。間に1時限以上の休憩をとっていただきます。また、シミュレーターによる教習は2時限連続して受けることはできません。

技能教習の手続き



技能教習の手続きや予約の取り方等については、最初の技能教習のとき説明いたします。最初の教習は、教習開始30分前までにおいでください。

技 能 教 習

～配車手続き

～教習開始の予鈴

～教習読込カード

配車手続き

- 技能教習受講の際は、必ず配車手続きをし配車券を取得していただきます。配車券を取らないと、無断キャンセルとなります。キャンセル料が掛かり、技能教習も受けられなくなります。
- 配車受付は、教習開始30分前から5分前までです。時間に遅れないようにおいでください。予約機が3台設置してありますが、通常、向かって左の予約機が時間になると「配車受付中」に変わります。入校時お渡しした教習生カードの白色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。自動的に配車券が発行されます。

教習開始の予鈴

- 教習開始2分前に案内放送が流れます。コース二輪棟へ行き、担当指導員の指示に従ってください。シミュレーターによる教習および危険予測教習は二輪棟2階です。
- 教習には教習原簿が必要です。教習原簿と配車券を担当指導員に渡してください。

教習読込カード

- 教習終了後、担当指導員が教習原簿と「教習読込カード」をお渡しします。教習終了後は速やかに、教習読込カードをカウンターに設置してあるカードリーダーで読ませ、進度記録票を発行してください。進度記録票は、その時限の教習内容を印字したレシートです。教習原簿の「教習項目」「修了した項目」等に間違いがないか確認してください。間違いがあれば係員にお申し付けください。カード読込を忘れると、次の教習に進めません。

教習の段階が進むと進度記録票にメッセージが印字されることがあります。メッセージの内容によっては、予約の調整、検定申し込み等が必要になりますので、注意してください。

技能教習の予約

- 当校では公平に、正確に、そしてよりスムーズに教習を進めていただくため最新のコンピューターシステムによりすべて運営されております。
- 予約はインターネット、携帯電話でも24時間できます。また、当日分もAM. 7:00まで予約することができます。操作方法、パスワードは入校時予約票に記載しております。不明な場合は受付にお問い合わせください。なおパスワードの電話等によるお問い合わせにはお答えしていません。パスワードがわからなくなってしまった場合は、教習生カードを持って受付でお問い合わせください。
- 予約機を3台設置しております。予約画面上に表示されるメッセージに従って操作していただければ予約が取れます。予約を取ったりキャンセルすると、最新の予約内容が教習生カードに印字されますので、再度確認してください。不明な点がありましたら遠慮なく係員にお尋ねください。
- 予約の取り方、配車の手続きの仕方は、最初の技能教習のときに係員が説明します。最初の技能教習は、教習開始の30分前に来校してください。
- 技能教習料は前金制となっております。技能教習料科目または「フリー入金」に必要な残高がないと予約が取れません。
- 最初の技能教習の予約は、入校式の時に一括して取ります。予約機では取れませんのでキャンセルしないようご注意ください。やむを得ずキャンセルした場合は受付に申し出て予約の取り直しをしてください。
- 当日の技能教習予約は取得時限枠に含みません。翌日以降の予約は時間に余裕のある時に、早めにお取りください。また、各段階の初めのうちは取得時限枠いっぱいまで予約をお取りください。予約の取得時限枠を有効に使っていただかないと教習の進みが遅くなってしまいます。
- 教習の途中でシミュレーター等の特別な教習があります。各段階の途中で説明しておりますが、別途予約が必要です。このような場合、進度記録票にも表示されますので常に進度記録票の確認をお願いします。

技能教習料等の料金

- 入校時に入金していただいた技能教習料は、「フリー入金」という科目の預り金で教習生毎にコンピューター管理しており、技能教習を受講の都度、引き落とされます。「フリー入金」に技能教習料相当の残高がないと予約できません。（学科教習は不要）
- 「フリー入金」は、技能教習料をはじめ、学科試験、技能検定、問題集の購入等にご利用いただけます。反面、入校時規定時限の技能教習料を入金の場合でも、その他の科目で使うと教習の後半で不足となります。
- 残った「フリー入金」は卒業の際払い戻しいたします。料金不足の際は、教習進度にあわせて多めに入金していただくと便利です。
- 技能教習料、学科試験料、検定料等を各科目で入金することもできます。その場合、他の科目で使われてしまうことはありませんが、他の科目として使うこともできません。使わなかった料金の払い戻しはすべて卒業時となります。
- 未払いのキャンセル料がある場合、「フリー入金」の残高はキャンセル料を引いた残高で計算されます。

技能教習の予約

～技能教習予約の数

～予約のキャンセル

技能教習予約の数

- 技能教習は予約制です。
- 短期プランなどの予約が優遇されるプランで入校の方を除いてベーシックプランの皆さんは、以下のような技能教習の予約によって教習を進めていただきます。
 - ・大型二輪…… 4時限予約できます。1日に2時限の予約可。
 - ・普通二輪…… 3時限予約できます。1日に2時限の予約可。
- 当日の技能予約は数えません。従って、予約がある日は技能教習を受ける前から技能教習予約ができます。早ければそれだけ空いている時限も多いですから、時間に余裕のあるとき早めに技能予約をお取りいただくか、または、インターネットや携帯電話で事前に予約してください。
- 前日のPM. 5:00以降、翌日分の予約には教習プランによる予約制限が解除されます。教習をより早く進めることができます。なお、法令及び料金残高の制限は受けません。また、予約直後であってもキャンセルには規定のキャンセル料金がかかります。
- 技能教習は、1段階では1日2時限、2段階は3時限まで乗車することができます。予約以外に技能教習を受けたい方はキャンセル待ち抽選をご利用ください。
- 2段階で1日に3時限乗車する場合、3時限連続では教習できません。3時間の間に1時限以上の休憩をはさまなければなりません。また、2段階最初に実施するシミュレーターによる教習も2時限連続では教習できません。

技能教習予約のキャンセル

- 都合により技能教習の予約をキャンセルする場合は、予約機でキャンセルの処理をするか、電話で係員に連絡してください。インターネット、携帯電話でもキャンセルできます。なお当日分の予約キャンセルは予約機ではできません。直接受付または電話でキャンセルするか、インターネット、携帯電話をご利用ください。
- 定められた時間までにキャンセルの手続きをしなかった場合、違約金として所定のキャンセル料金がかかります。予約した教習が受けられない場合は、速やかにキャンセルの手続きをしてください。

・無断キャンセル	1,500円（1時限につき）
・教習開始5分前まで	1,000円（1時限につき）
・前日PM. 5:00まで	無 料

（前日が休校日の場合は休校日の前日。業務終了がPM. 5:00前の場合は業務終了時まで）

予約機の手操作（技能予約）

- ① 教習生カードの白色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。
- ② 右上 **技能予約・キャンセル** に触れてください。

- ・ 教習進度によりコンピューターが次に行うべき教習の空き状況を表示します。
- ・ 青の表示が予約可能です。
- ・ 赤・緑の表示は予約を持っている時限です。
- ・ 水色の表示は空きがありますが、取得時限枠や法令の制限で予約できません。予約変更の参考にしてください。
- ・ 各時限の下に受講しなければならない学科教習の予定が表示されます。予約の参考にしてください。

- ③ 予約するときは、青色表示の空いている希望時限に触れてください。キャンセルしたいときは、予約済みの時限に触れるとキャンセル処理になります。

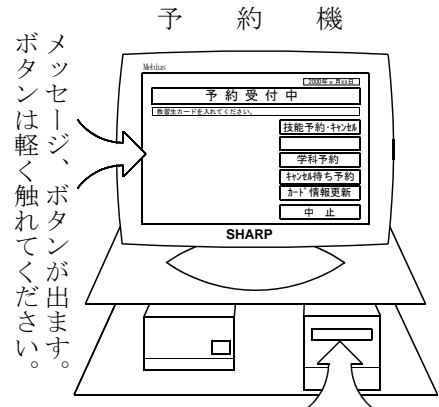
間違えた場合は別の時限に触れ直してください。

再度同じ時限に触れると選択の解除になります。間違えて予約済みの時限に触れてしまったり、処理を中断するときに操作してください。

- ④ 間違いがなければ **確認** に触れてください。さらに予約を取る場合は、③に戻ります。
- ⑤ 予約、キャンセルがすべて終わったら **完了** に触れてください。

「完了」でそれまでの処理が確定され、カード情報が書き変わります。**中止** に触れると、それまでの処理は何も行わなかったことになり、カード情報ももとのままです。

- 予約機の手操作では、事前に日程を調べ速やかに処理できるようご協力をお願いします。
- 各時限の下に学科予定が表示されています。未受講の学科押印番号が表示されますので、予約の参考にしてください。
- 予約を取ったり、キャンセルした場合は、最新の予約内容が教習生カードに印字されます。再度確認してください。



教習生カードの銀色の面を上に向け、矢印の方向に差し込んでください。

予 約 機

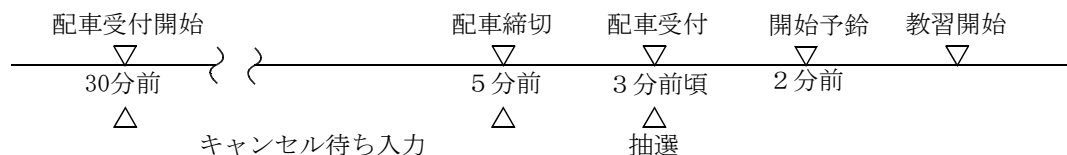
～キャンセル待ち

～キャンセル待ち入力

キャンセル待ち

- キャンセル待ちは、技能教習の当日キャンセル等で指導員に空きがでた場合に、乗車を希望する人の中から抽選を行い乗車していただくシステムです。
- キャンセル待ちは、予約の取得時限枠には含まませんので予約があってもキャンセル待ちはできます。また、当選しても持っている予約に影響はありません。
- キャンセル待ちの抽選は、最新のコンピューターシステムによって行っております。
キャンセル待ちを希望する時限の教習開始30分から5分前までに予約機で入力していただきます。配車締切後抽選を行い、当選の方を放送でお呼びします。係員にわかるよう大きな声で返事をし、確認を受けてから、通常通り配車券を取ってください。

キャンセル待ちのタイムスケジュール



キャンセル待ちの入力

- ① 教習生カードの白色の面を上に向け、矢印の方向から軽くリーダーに差し込んでください。
- ② 右上から4番目 **キャンセル待ち予約** に触れてください。
- ③ 毎時限ごとの入力です。空車表示が次の時限であることを確認の上、車の絵に触れてください。
- ④ 間違えがなければ **確認** に触れてください。
- ⑤ 最後に **完了** に触れてください。

キャンセル待ちの取消は、予約取消と同じです、入力済みの車の絵に触れてください。

- キャンセル待ちの入力回数はポイントとして加算され、比較的ポイントの高い方から当たるようになっています。キャンセル待ちに当たったり、当たっても不在の場合は、それまでのポイントが「0」になります。当選して名前が呼ばれたら大きな声で、返事をしてください。キャンセル待ちに当たらなかつたからといって、取消をするとポイントになりません。
- キャンセル待ち入力の際に、技能教習料やそれに相当するフリー入金の残高が不足していると入力できません。
- 1日に受けられる技能教習時限数の制限を越えることはできません、すでにその時限の予約を取っている場合は、キャンセル待ちの入力はできません。

大型二輪教習の普通二輪免許所持者は、ここに記載のシミュレーター教習は実施しません。

技能1段階「シミュレーター教習」の予約

- 一定の項目（～進捗とチェック 参照）が修了すると、シミュレーターによる教習を実施します。おおむね技能教習1段階の中程です。担当指導員より指示があります。「シミュレーター指示」が出ると、シミュレーター教習を受けなければ次の実車教習に進めません。
- シミュレーター教習は通常の技能教習の予約とは異なります。予約の空き状況も、通常の教習とは異なり、持っている予約が自動で切り替わる事はありません。
- シミュレーター教習を受けないと次の実車教習に進むことはできません。予約の際シミュレーター教習より前になる予約は、自動的にキャンセルになります。
- 自動キャンセルにはキャンセル料はかかりません。PM. 5:00以降の予約取消処理による翌日分の予約キャンセルは、キャンセル料がかかります。「シミュレーター指示」等教習進捗によりキャンセルが必要な場合は、処理前に係員にお問い合わせください。
- シミュレーター教習は予約枠に含めません。シミュレーター教習1時限と、大型二輪は実車4時限合計5時限、普通二輪は実車3時限合計4時限予約できます。
- 予約機で通常の技能教習と同じ「技能予約・キャンセル」に触れていただくと、コンピューターが教習進捗、予約状況により次に予約すべき教習の空き状況が表示されます。また、予約可能な空きは青色で表示されますので、来校できる一番近い日で予約していただければ結構です。
- シミュレーター教習も、通常通り配車の手続きをしてください。教習は、二輪棟2階シミュレーター室で行います。技能2段階で実施する「シミュレーター教習」、「危険予測」も同じです。
不明な点は遠慮なく係員にお問い合わせください。

技能2段階 1・2時限目「シミュレーター教習」の予約

- 技能1段階のみきわめが「良好」になると、いよいよ2段階です。技能教習2段階の最初の2時限は、シミュレーターによる教習です。シミュレーター教習2時限を実施しないと実車教習は実施できません。
- 1回目と、2回目のシミュレーターの教習内容は違い、空き状況も異なります。1回目のシミュレーターの予約をすると、コンピューターが予約状況により自動的に、2回目のシミュレーターの空きを表示します。
- シミュレーター教習は予約枠に含めません。シミュレーター教習2時限と、大型二輪は実車4時限合計6時限、普通二輪は実車3時限合計5時限予約できます。空き状況によっては、シミュレーター2時限と実車教習1時限の計3時限を同じ日に予約することができます。予約可能な空きは、青色で表示されます。
シミュレーターによる教習は、法令により2時限連続で教習できません。間で1時間以上の休憩が必要です。
- 予約機の予約操作、自動キャンセルの扱い、配車手続き等、技能1段階シミュレーターと同様です。

予 約 機 ～特殊教習の予約

技能2段階「危険予測」の予約

- 一定の項目（～進捗とチェック 参照）が修了すると、危険予測の教習です。おおむね技能教習2段階の中程です。担当指導員より指示があります。「危険予測指示」の後は、危険予測を受けないと次の実車教習に進めません。
- 危険予測は、シミュレーターによる技能教習1時限と、学科教習1時限の、2時限連続教習です。空きは1時限目を表示します。1時限の予約で2時限分の予約処理になります。指定時限より2時限、来校できる時限で予約してください。
(大型二輪教習の普通二輪免許所持者は、学科教習はなく、危険予測技能1時限を実施)
- 危険予測は予約取枠に含めません。危険予測と、大型二輪は実車4時限の計5時限、普通二輪は実車3時限の計4時限予約することができます。なお、危険予測後、大型二輪教習での普通二輪所持者は実車2時限目が、普通二輪限定なしは実車2時限目が、普通二輪小型小型限定では次の時限が「みきわめ」です。それまでの履修状況により実車の予約数を調整してください。
- 予約機の予約操作、自動キャンセルの扱い、配車手続き等については、技能1段階シミュレーターと同様です。

シミュレーター等のキャンセル待ち

- シミュレーター教習も通常と同じ操作でキャンセル待ちができます。シミュレーター、危険予測として特別入力する必要はありません。

技能教習 1 段階
～学科教習の進捗

〈〈〈〈〈 受けられる教習 〉〉〉〉〉

☆ 運転適性

★ 技能教習 1 段階

学科教習の進捗 (運転適性検査)

運転 適性	受講日	時限
	/	

運転適性検査は、入校後、早い時期に受講していただく学科です。お
おむね技能教習 5 時限目まで、1 段階の最短時限が 5 時限より短い場
合は、1 段階修了までに受講してください。受講していないとその後
の技能教習、予約ができなくなります。

教習の記録

月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									

技能教習 1 段階

～教習の目標

～教習の記録

◎ 技能 1 段階の目標 基本操作及び基本走行

- ① 運転装置の働きを理解し、正しい手順で操作できる。
- ② 正しい運転姿勢で基礎的な走行ができる。
- ③ 確実かつ円滑な運転操作ができる。
- ④ 車両特性等に応じた基本的な走行ができる。

教習の歩み（最短時限）

大型二輪（普通二輪 所持） 5 時限

実車1-1 実車1-2 実車 AT教習 実車

※普通二輪 A T 限定の場合は、実車 7 時限、合計 9 時限です。

大型二輪（普通二輪小型限定 所持） 9 時限

実車1-1 実車1-2 実車 実車 実車 実車 実車 AT教習 実車

※小型二輪 A T 限定の場合は、実車 11 時限、合計 13 時限です。

大型二輪（普通車 所持） 14 時限

実車1-1 実車1-2 実車 シュルター-I-1 実車 実車 車 AT教習 実車

実車 合計10時限

普通二輪限定無し 400CC（普通車 所持） 9 時限

実車1-1 実車 実車 シュルター-I-1 実車 実車 実車 AT教習 実車

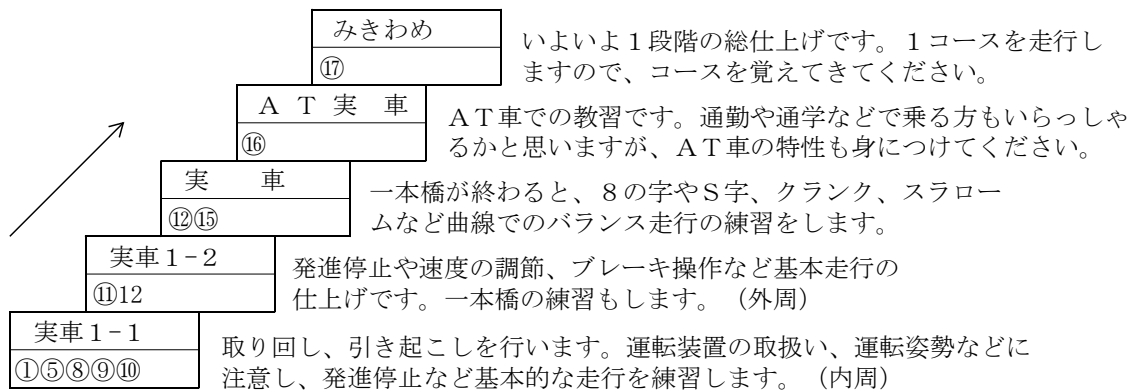
普通二輪小型限定 125CC（普通車 所持） 5 時限

実車1-1 シュルター-I-1 実車 AT教習 実車

- 1 段階最初の教習で、技能教習受講の手続きについて係員が説明しますので、教習開始30分前にお越しください。教習原簿は取り出してあります。教習前に運転適性を受ける場合は、受講前に受付にお申し出ください。
- 2 時限連続で予約の場合もありますが、1 時限目教習終了後「教習カード読込」と 2 時限目の「配車手続き」が必要です。

技能教習 1 段階
 ~教習の Step
 大型二輪 普通二輪所持
 大型二輪 小型二輪所持

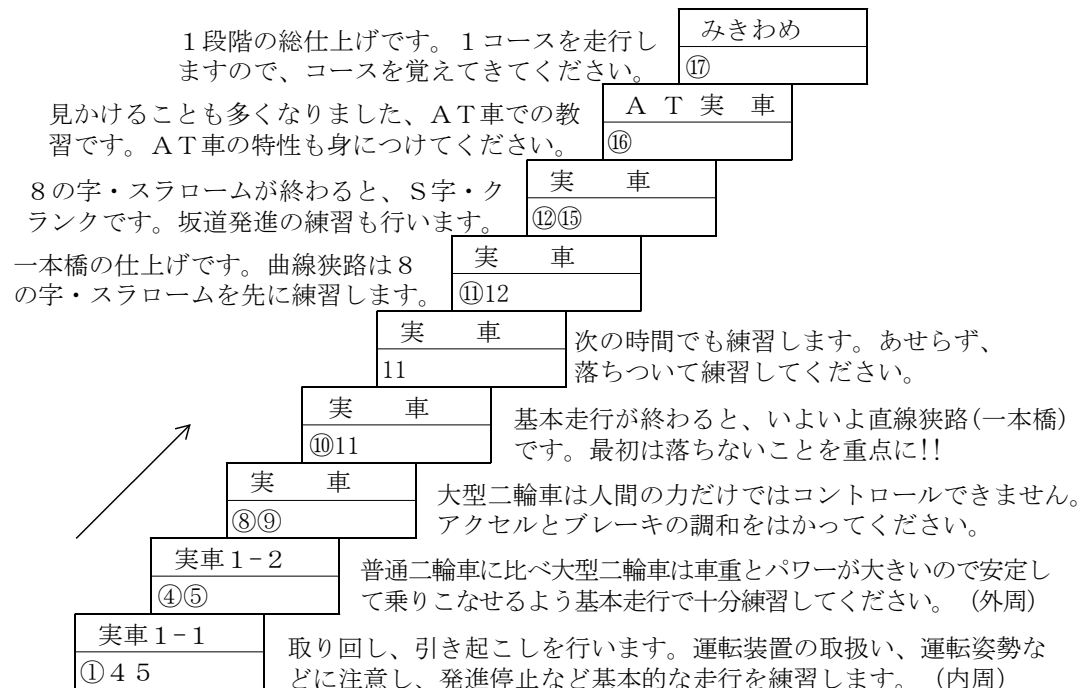
教習の Step 大型二輪（普通二輪免許所持） おおよその教習内容を現しています。
 予習、復習の参考にしてください。



普通二輪所持者は項目番号2・3・4・6・7・13・14は修得済みとして教習が進められます。運転装置の取扱いや運転姿勢など事前に運転教本で予習してください。

上段 どんな教習ですか？
 下段 実施予定の教習項目です。
 ○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

教習の Step 大型二輪（普通二輪小型限定免許所持）

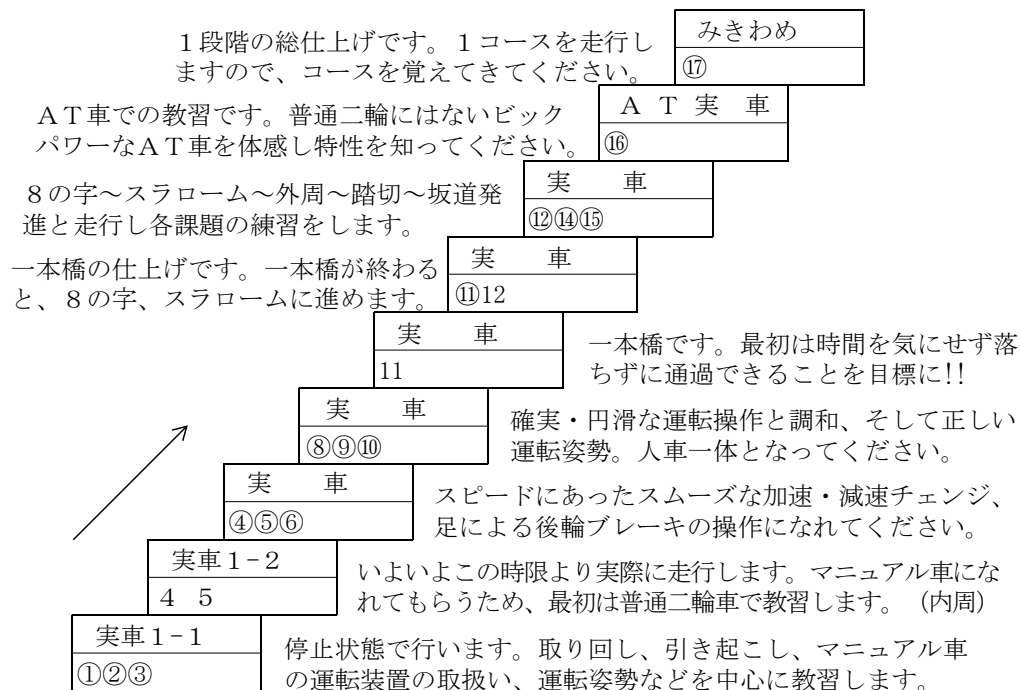


普通二輪（小型限定）所持者は項目番号2・3・6・7・13・14は修得済みとして教習が進められます。運転装置の取扱いや運転姿勢など事前に運転教本で予習してください。

技能教習 1 段階
 ~教習の Step
 大型二輪
 普通二輪 A T 限定所持

おおよその教習内容を現しています。
 予習、復習の参考にしてください。

教習の Step 大型二輪（普通二輪 A T 限定免許所持）

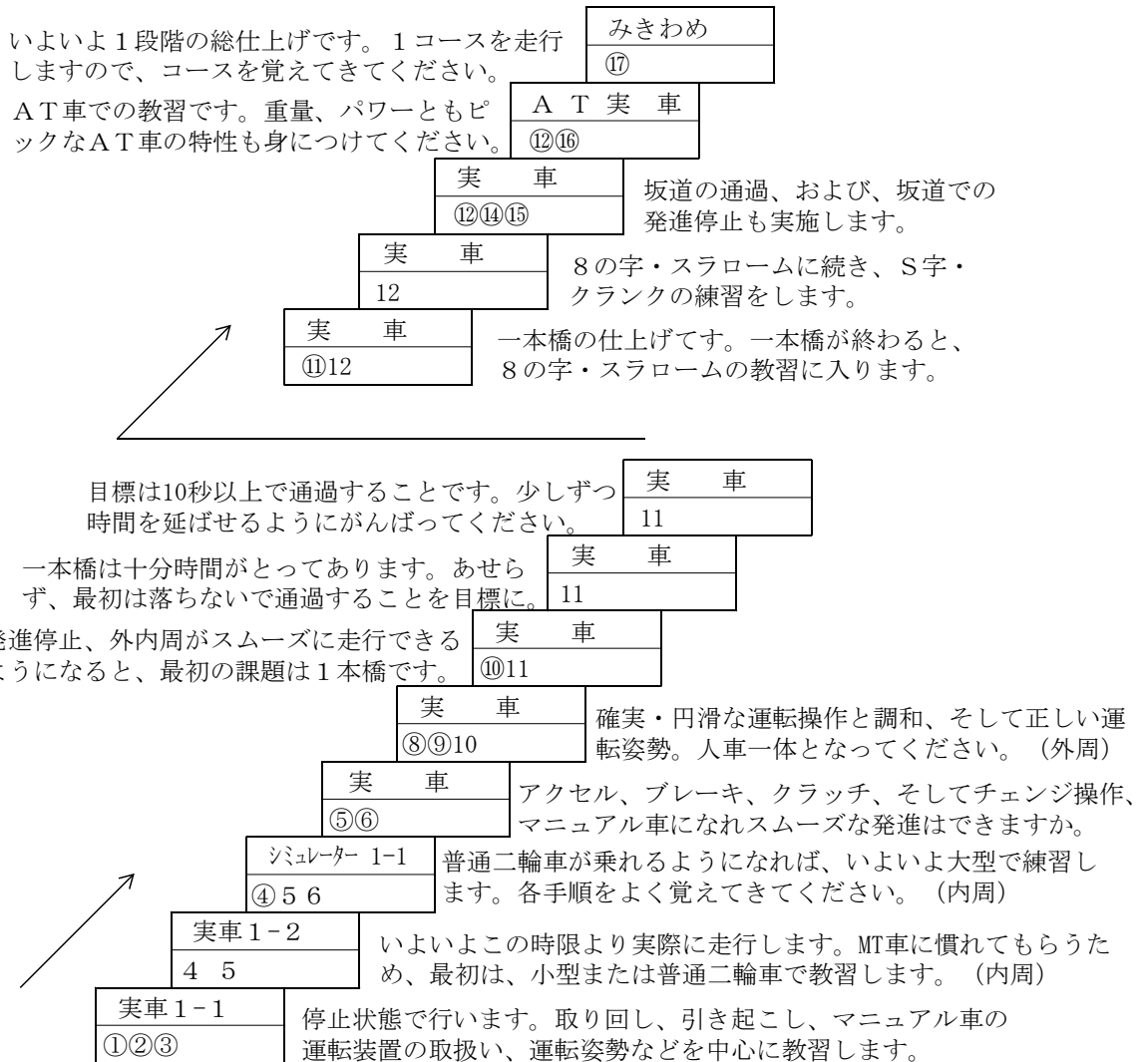


普通二輪（A T 限定）所持者は項目番号 7・13 は修得済みとして教習が進められます。二輪車と四輪車の死角の違いや二輪車の車両特性について事前に運転教本で予習してください。

上段 どんな教習ですか？
 下段 実施予定の教習項目です。
 ○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

教習の Step 大型二輪 (小型二輪 A T 限定免許所持)

おおよその教習内容を現しています。
 予習、復習の参考にしてください。

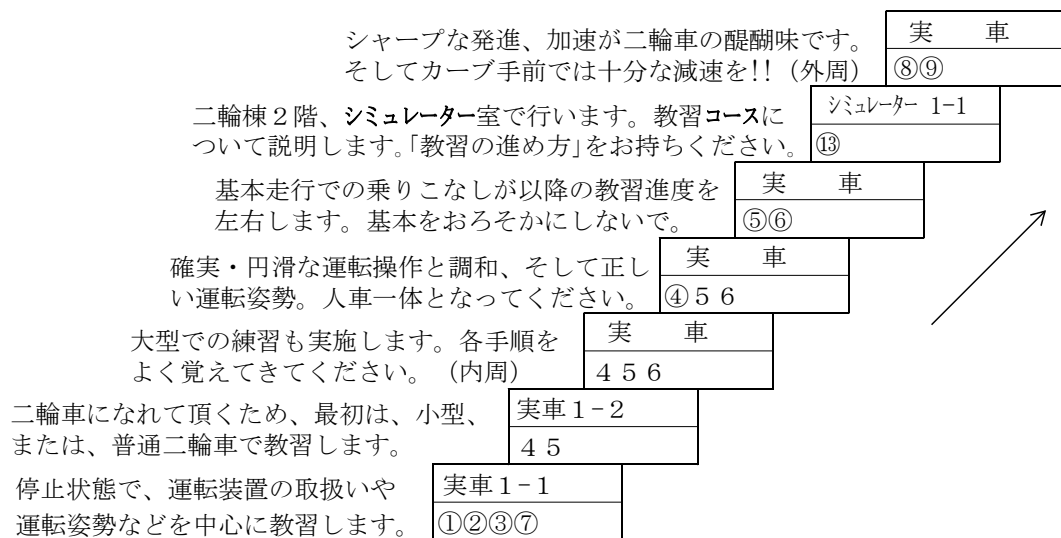
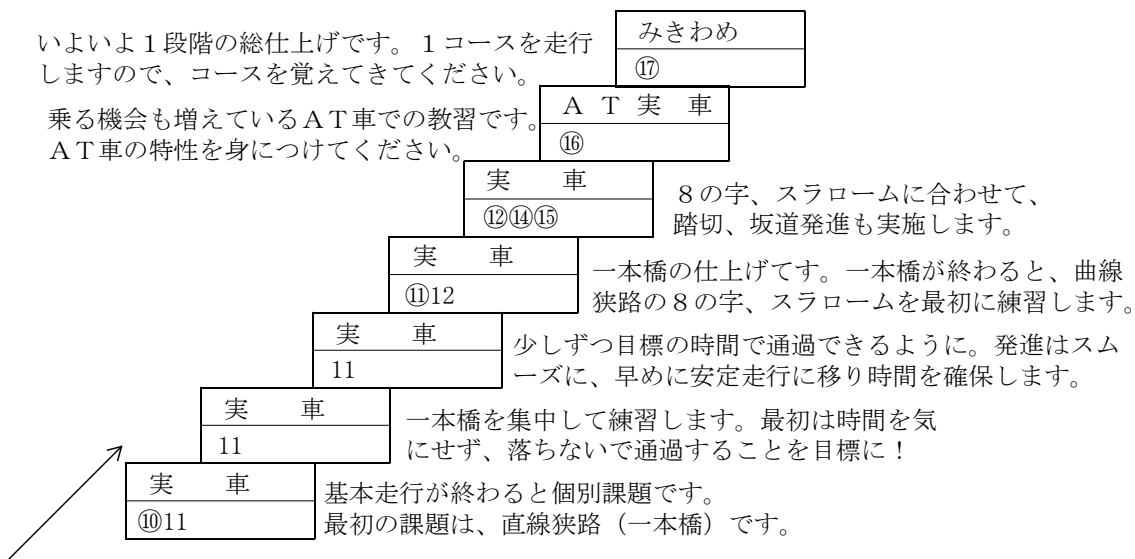


上段 どんな教習ですか？
 下段 実施予定の教習項目です。
 ○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

技能教習 1 段階
 ~教習の Step
 大型二輪 普通車所持

教習の Step 大型二輪（普通免許所持）

おおよその教習内容を現しています。
 予習、復習の参考にしてください。

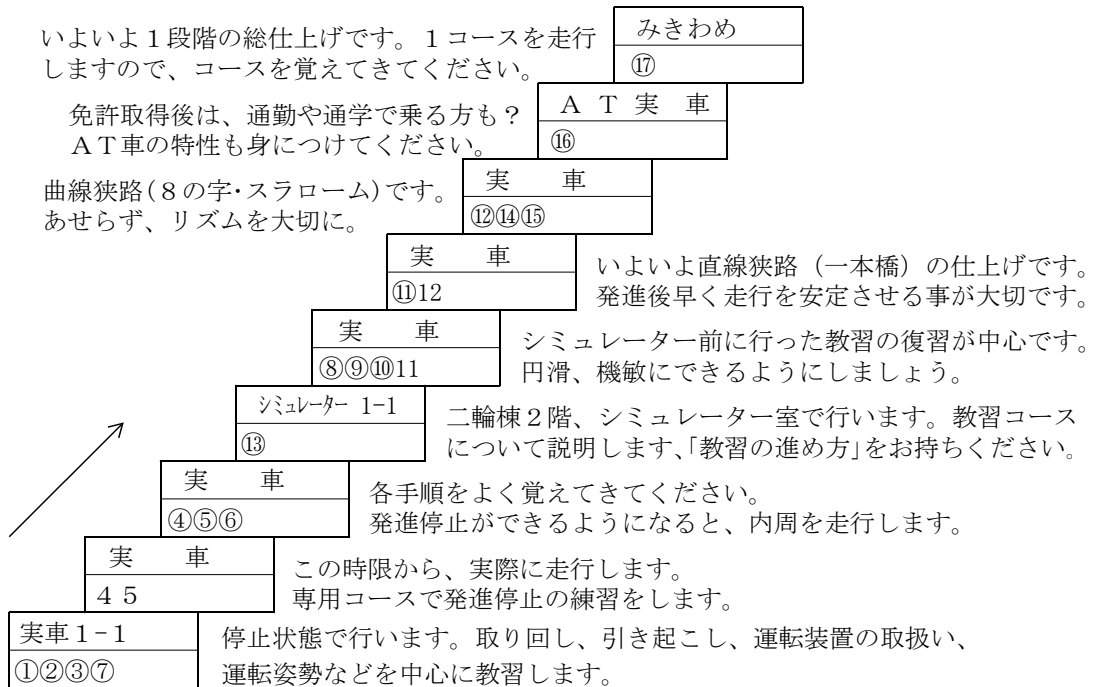


上段 どんな教習ですか？
 下段 実施予定の教習項目です。
 ○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

技能教習 1 段階
 ~教習の Step
 普通二輪 限定無し
 普通二輪 小型限定

教習の Step 普通二輪 限定無し (普通免許所持)

おおよその教習内容を現しています。
 予習、復習の参考にしてください。

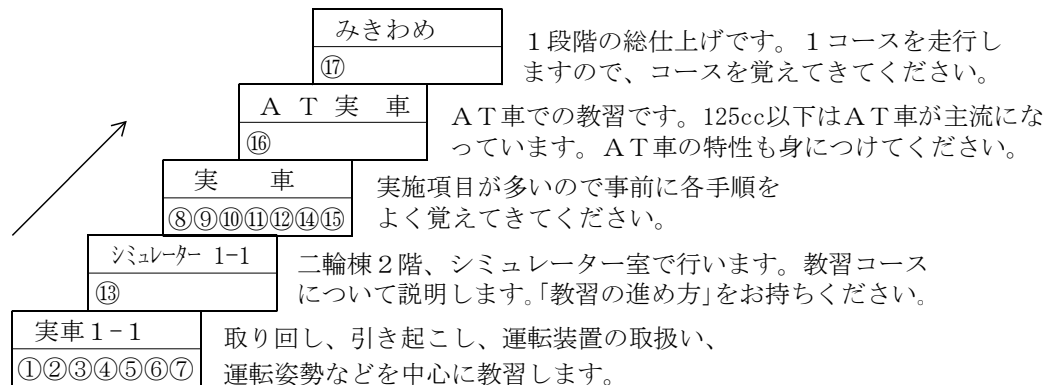


上段 どんな教習ですか？

下段 実施予定の教習項目です。

○数字は規定で進んだ場合の修了項目です。

教習の Step 普通二輪 小型限定 (普通免許所持)



小型二輪教習は、法令により決められた最短短時限の中に、多くの課題が盛り込まれています。予習復習を特に十分行ってください。

技能教習 1 段階 ～進捗とチェック

進捗とチェックの記入

- 「項目の修了」 教習原簿の各項目に履修印が押された月日を記入してください。
- 「教習項目」 教習原簿に記載された教習項目です。
番号順に記載しておりません、おおむね、修了する順に記載しておりますが、実際とは異なる場合もあります。
- 「確認」 上に記載された教習項目が修了した時点で「終わっていないなければならない教習」、「見ておいていただきたい説明」、「次回用意していただきたい事柄」等を記載しております。

○ 教習の進捗とチェックは、「予約を取っていないかった」等により教習が滞ってしまうことのないよう作成致しました。不明な点は遠慮なく係員にお問い合わせください。

技能教習の進捗とチェック

項目の修了	教 習 項 目
<input type="text"/>	1 車の取扱い
* <input type="text"/>	2 自動車の機構と運転装置の取扱い
* <input type="text"/>	3 運転姿勢
* <input type="text"/>	7 安全走行
* <input type="text"/>	4 ブレーキ操作の仕方
<input type="text"/>	5 発進及び停止の仕方
* <input type="text"/>	6 変速操作の仕方
確認 運転適性は受講しましたか？ 次回シミュレーターです。シミュレーターの予約をしてください。 (大型二輪教習で普通二輪所持者を除く)	
* <input type="text"/>	13 車両特性を踏まえた運転
<input type="text"/>	8 円滑な発進・加速
<input type="text"/>	9 速度の調節
<input type="text"/>	10 ブレーキ操作
<input type="text"/>	11 バランスのとり方 (直線)
<input type="text"/>	12 バランスのとり方 (曲線)
* <input type="text"/>	14 坂道の通過
<input type="text"/>	15 坂道における停止及び発進
<input type="text"/>	16 オートマチック車の運転
<input type="text"/>	17 教習効果の確認 (みきわめ)

大型二輪教習では、日付欄左側
普通二輪所持者は※と*付の項目を
小型二輪所持者は※付の項目を
修得済みとして教習を実施します。
事前に運転教本で予習してください。
(A T 限定免許所持者も同じ)

確認 次回から 2 段階です。
技能 2 段階の最初は、シミュレーターによる教習です。
(大型二輪教習で普通二輪所持者を除く)

教習項目とワンポイントアドバイス

1 車の取扱い

- ・ センタースタンドは、スタンドの両足を地面につけ、スタンドに体重を乗せ引き上げると簡単にあがります。
- ・ 車の取り回しは、体から車体が離れすぎると、不安定になります。

2 自動車の機構と運転装置の取扱い

- ・ 乗車
後方確認～車体をおこす～サイドスタンドを右足で払う～後方確認～乗車～ミラーの確認
- ・ エンジンのかけ方
スイッチON～キルスイッチ確認～クラッチレバーをにぎる～ニュートラルにする～スターターボタン

3 運転姿勢

- ・ ニーグリップ（両膝で燃料タンクを挟み人車一体とする）
- ・ つま先はまっすぐ前方に向け、左足は、チェンジレバーの下にならないように。
- ・ 背筋はまっすぐ、腕は軽く曲げる程度です。

4 ブレーキ操作の仕方

- ・ ブレーキは前・後輪同時に使うのが基本です。前・後輪共に一気に強くかけないで、「ジワァ」とかけるようにしましょう。

5 発進及び停止の仕方

- ・ 発進の手順
左右後方確認～右合図～ローギア～右後方再確認～発進（確認の基本は直接目視）
- ・ 停止の手順
左合図～左による～ローギヤで停止～合図消す～エンジン停止

6 変速操作の仕方

- ・ 所内30Km制限速度です。30Km出すことも目標です。（状況によって）
- ・ ギヤも直線では、スピードにより3速までギヤチェンジします。

7 安全走行

- ・ 四輪車・二輪車ともに死角がたくさんあります。特に、四輪車の死角を理解することにより、四輪車の死角に入らない走行、防衛運転も必要です。

8 円滑な発進・加速

- ・ 実際の道路での発進をイメージして練習します。他の交通に合わせた円滑な操作をするために、各手順をもう一度覚えましょう。

9 速度の調節

- ・ 直線指示速度（30Km）まで機敏に加速し、カーブの手前では十分に減速します。カーブに入る前に、減速を終わらせるようにしましょう。

技能教習 1 段階 ～ワンポイント 2

教習項目とワンポイントアドバイス（続）

10 ブレーキ操作

- ・ ブレーキは、前後輪ブレーキを同時に使うのが原則ですが、ブレーキをかけると、車重が前輪に多く掛かるため、前輪ブレーキの方が効きがよいので、速度の速いときなどは、前輪ブレーキの割合を強くします。

11 バランスのとり方（直線）

- ・ 落ちないようにと、すぐ近くに目線が行ってしまいますが、近くを見ていると逆に方向感覚がつかみにくくふらついてしまいます。一本橋の出口付近を見るようにしましょう。
発進からゆっくり走ろうとせず、普通に発進し、発進後早い時期に安定した走りにして、それから時間を確保しましょう。また、最初から目標時間以上で走ろうとせず、バランスよく安定して通過できるようにして、徐々に目標時間で走れるよう段階的に練習してください。

ふらついた時は、車体を傾けず、ハンドルを左右に切って立て直してください。また、ふらつきそうになったら、早めに速度を上げ、落ちないで通過することが重要です。

目標時間	大型二輪	10秒以上
	普通二輪	7秒以上
	小型二輪	5秒以上

12 バランスのとり方（曲線）

- ・ 8の字・S字・クランク・スラロームを練習します。（小型二輪はスラロームを除く）
- ・ 各課題全般的には、一本橋と同様に、すぐ近くを見ないで、次のカーブ、次のカーブと目線を先へ移動し、早めに進路をイメージし、イメージの中で車両を誘導してください。
- ・ 8の字・S字

二輪車は、カーブで車体を傾け走行し、また、カーブの出口では、緩やかに加速することにより、車体をおこします。8の字・S字では微妙なアクセルワークが要求されます。

・クランク

クランクでは、特に、今通過しているカーブに目線が行きがちです。目線が近いと、内輪差などを考えた次の進路が描けず、カーブの出口、および、次のカーブで失敗しやすくなります。

・スラローム

スラロームも通過時間を要求されます。スラロームではリズムを大切にしてください。速く通過しようとするあまり、オーバースピードで進入すると、後半でリズムが取れずパイロンに接触したり、タイムがでなくなります。ゆっくりでもリズムよく安定して通過した方が逆にタイムがでます。

目標時間	大型二輪	7秒以内
	普通二輪	8秒以内

教習項目とワンポイントアドバイス（続）

13 車両特性をふまえた運転

- ・ シミュレーターを使った教習です。
二輪車は、四輪車に比べ非常に不安定な乗り物であるとともに、体が露出しているため、転倒が重大事故に結びついてしまいます。ちょっとした路面の変化も瞬時にとらえ運転操作に反映させないと転倒事故に結びついてしまいます。この時間では、事故をおこさない運転技量だけではなく、車両特性を知ることにより、未然に事故回避する運転方法を身につけてください。

14 坂道の通過

- ・ 下り坂は、加速度が付き速度が速くなってしまいます。エンジブレーキを主に使って降りるようにしてください。

15 坂道における停止及び発進

- ・ 平坦での発進より大きな力が必要なので、通常の前進に比べややエンジン回転をあげ、半クラッチを大切にしながら発進してください。右手＝アクセル、左手＝クラッチ、右足＝リアブレーキの連携が大切です。

16 オートマチック車の運転

- ・ スターター型二輪車を多く見かけるようになりました。チェンジ操作が不要な反面、ホイールベースが長いなど車両特性からの注意点もあります。オートマチック車の特性も身につけてください。

17 教習効果の確認（みきわめ）

- ・ 技能第一段階の項目13・16を除く全項目の「確認」（みきわめ）を行います。みきわめが「良好」となると、いよいよ技能第2段階へと進みます。

技能教習 1 段階 ～「良好」になったら ～1日の乗車可能時限

技能1段階みきわめ「良好」になったら

- 技能1段階のみきわめが「良好」となると、いよいよ2段階の教習です。
- 技能2段階の最初の2時限はシミュレーターによる教習です。シミュレーターを2時限教習しないと実車教習を受けられません。現在取得済みの予約がシミュレーターに変わることはありません。「予約機 ー特殊教習予約」参照の上、別途予約してください。
みきわめが「良好」となった当日の技能教習予約は、自動的にキャンセルになります。
(大型二輪教習で普通二輪(小型限定含む)所持者は、このシミュレーター教習はありません。)

技能教習2段階の1日の乗車可能時限

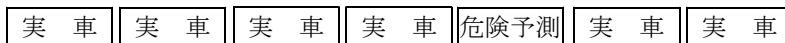
- 技能教習2段階では、1日に3時限まで技能教習を受けることができます。ただし3時限連続の教習はできません。あいだに1時間以上(昼休みも可)の休憩を入れてください。
- 1日の予約時限は、2時限までに制限させていただいております。予約以外の乗車は、キャンセル待ち等をご利用ください。

◎ 技能 2 段階の目標 応用走行

- ① 交通法規に従った正しい走行ができる。
- ② 交通の状況についての情報を的確に読み取りながら快適な運転ができる。
- ③ 二輪車の運転に伴う危険を予測した運転ができる。
- ④ 二輪車の車両特性を理解し、余裕のある安全運転ができる。

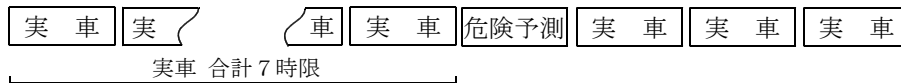
教習の歩み（最短時限）

大型二輪（普通二輪 所持） 7 時限



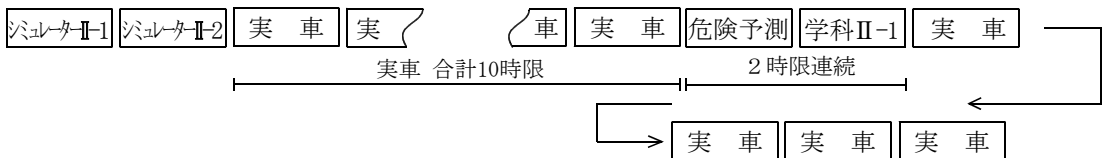
※普通二輪 A T 限定の場合も、2 段階は同じ時限数です。

大型二輪（普通二輪小型限定 所持） 11 時限

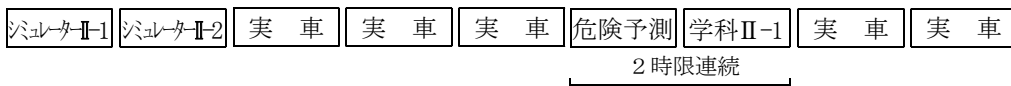


※小型二輪 A T 限定の場合も、2 段階は同じ時限数です。

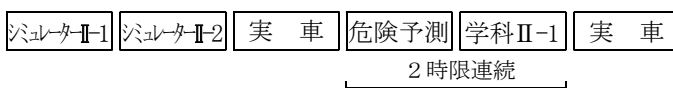
大型二輪（普通車 所持） 17 時限（学科教習を除く）



普通二輪（限定無し 400CC 普通車 所持） 8 時限（学科教習を除く）



普通二輪（小型限定 125CC 普通車 所持） 5 時限（学科教習を除く）

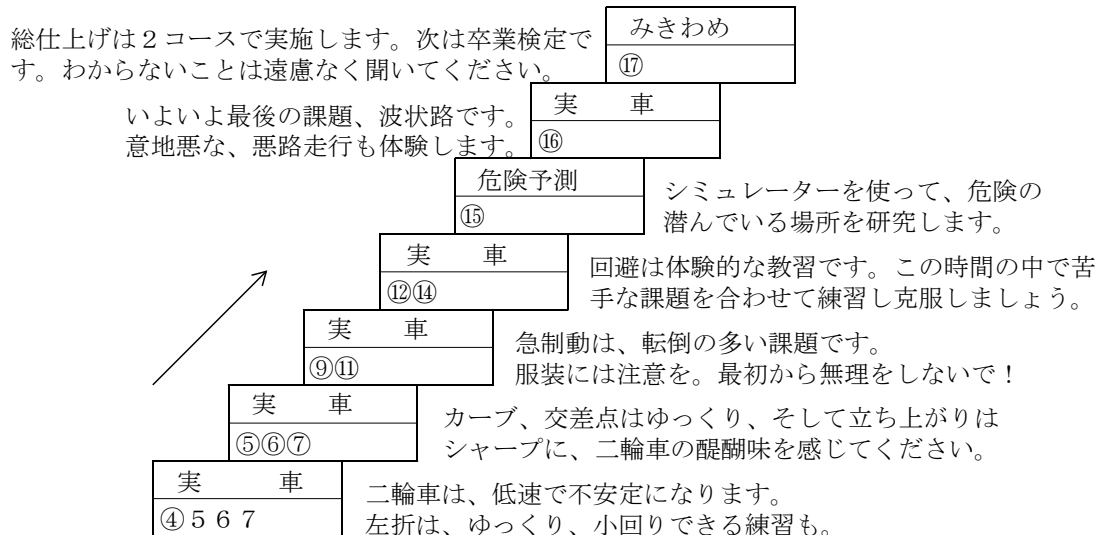


危険予測 技能教習 1 時限、学科教習 1 時限の計 2 時限を連続で、複数教習生で実施します。
（大型二輪教習の普通二輪（小型限定を含む）免許所持者は学科はありません。1 時限で実施）

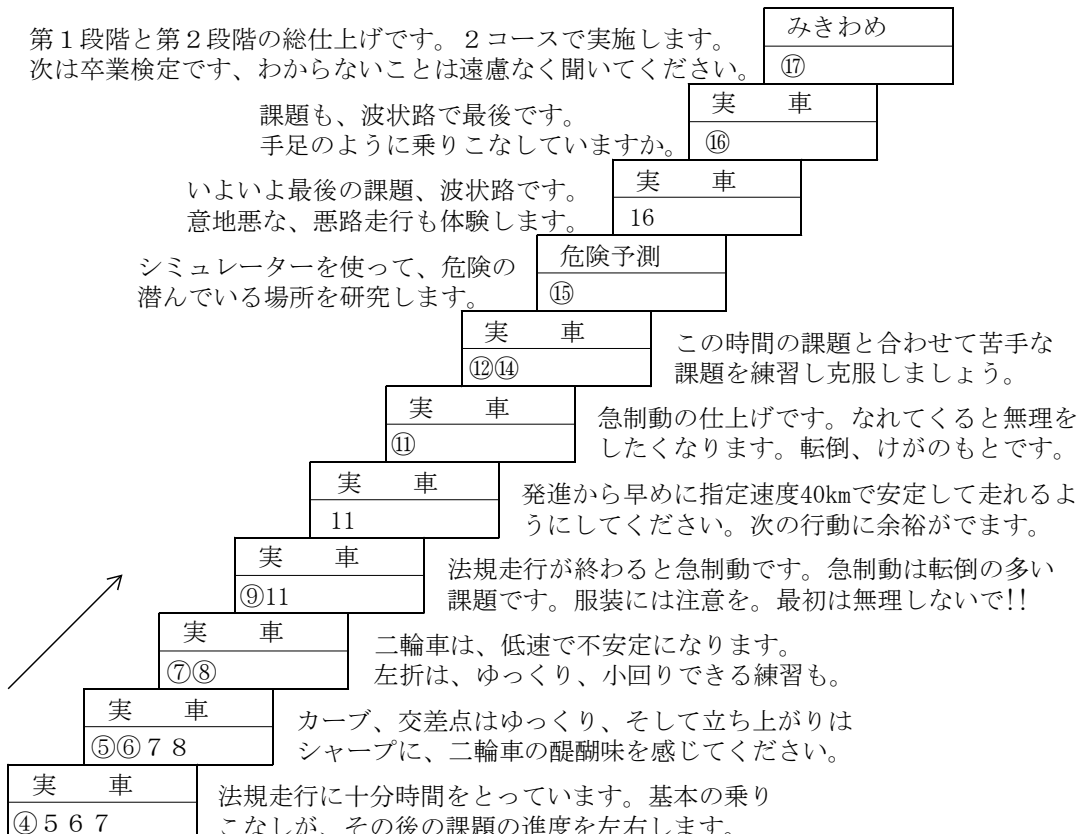
技能教習 2 段階

～教習の Step
 大型二輪 普通二輪所持
 大型二輪 小型二輪所持

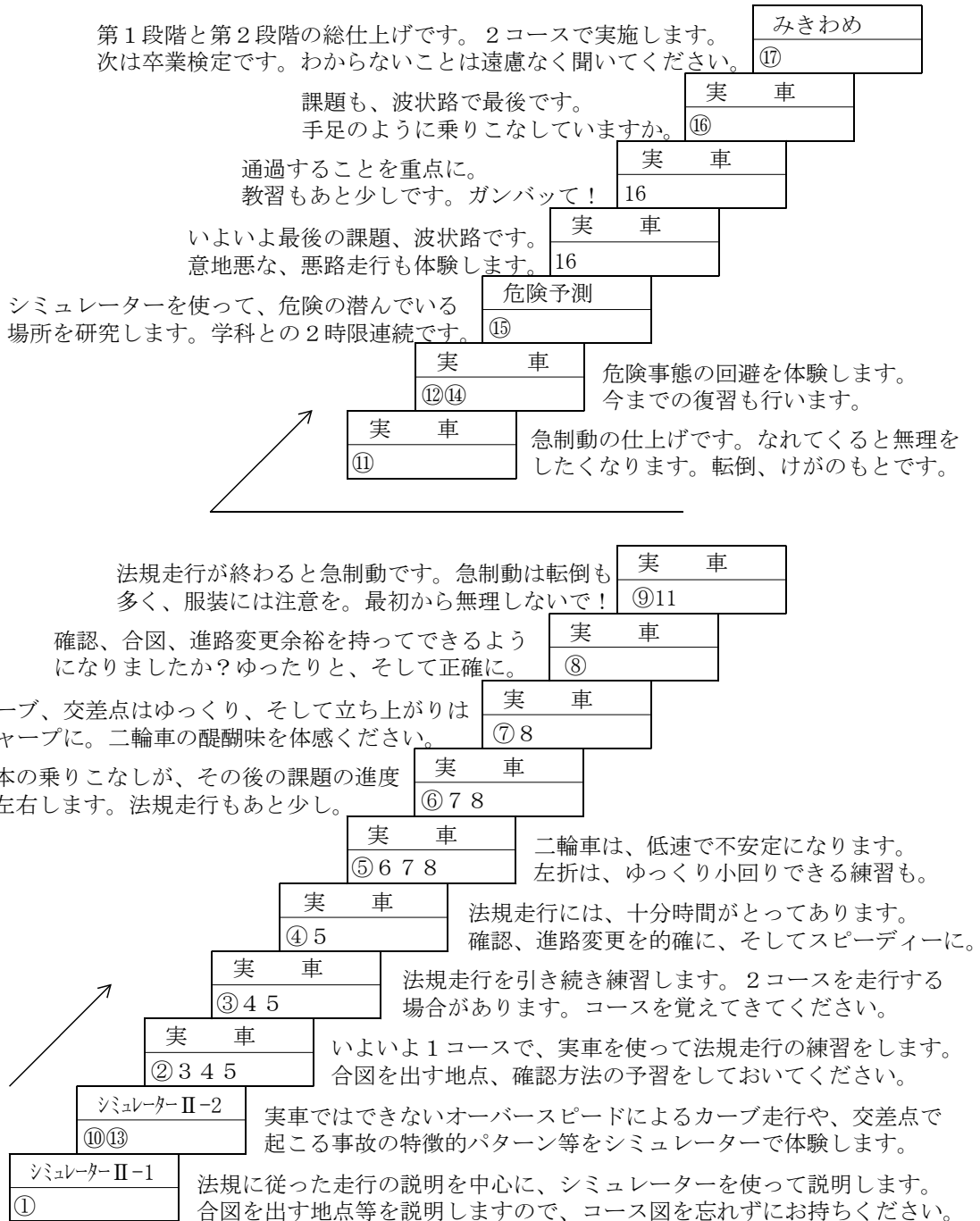
教習の Step 大型二輪（普通二輪免許所持 AT限定も同じ）



教習の Step 大型二輪（普通二輪小型限定免許所持 AT限定も同じ）



教習の Step 大型二輪（普通免許所持）



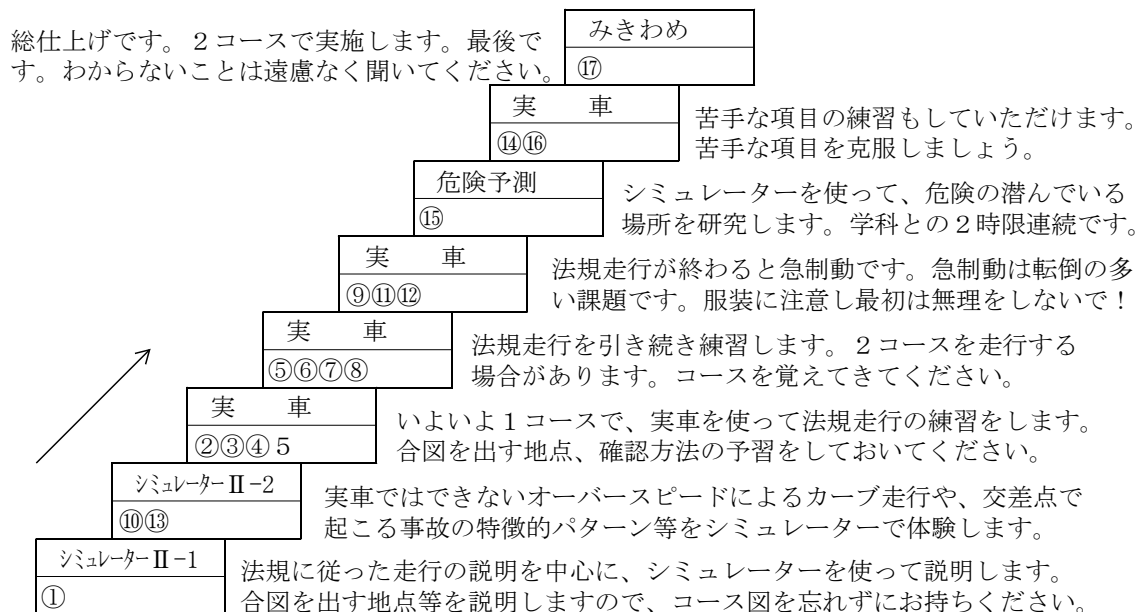
技能教習 2 段階

～教習の Step

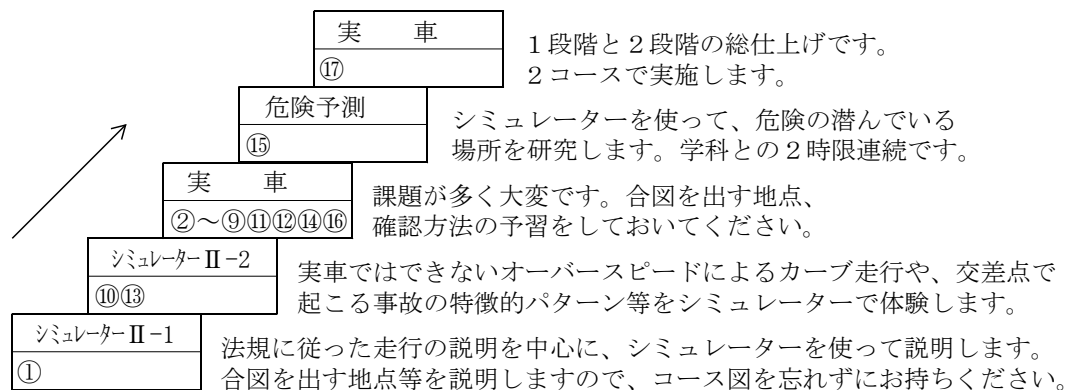
普通二輪 限定無し

普通二輪 小型限定

教習の Step 普通二輪 限定無し（普通免許所持）



教習の Step 普通二輪 小型限定（普通免許所持）



小型二輪教習は、法令により決められた最短時限の中に、多くの課題が盛り込まれています。予習復習を特に充分行ってください。

技能教習 2 段階
 ~学科教習の進度
 ~教習の記録

学科教習の進度 (学科 2 段階)

番号	受講日	時限
1	/	

押印番号「Ⅱ-1」は技能教習とのセット学科です。
 ※大型二輪教習の普通二輪（小型限定・AT限定を含む）所持者は
 学科がありません。危険予測技能1時を限実施します。

教習の記録

月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
時 限									
指 導 員									

技能教習 2 段階
～進捗とチェック

技能教習の進捗とチェック

項目の修了	教習項目
* * 月 日	1 路上運転にあたっての注意と法規走行
* * 月 日	10 カーブの体感走行
* * 月 日	13 ケース・スタディ（交差点）
* * 月 日	2 通行区分など
* * 月 日	3 走行ポジションと進路変更
月 日	4 交差点の通行（直進）
月 日	5 交差点の通行（右折）
月 日	6 交差点の通行（左折）
月 日	7 見通しの悪い交差点の通行など
* 月 日	8 安全な速度と車間距離
月 日	9 カーブの安全走行
月 日	11 急制動
月 日	12 回避
月 日	14 交通の状況および道路環境に応じた運転 ※ 普通限定は、「危険を予測した運転」後に実施
月 日	15 危険を予測した運転 技能1時限と学科教程「II-1」（ディスカッション）がセットの2時限連続です。 大型二輪教習の普通二輪所持者は学科はありません。危険予測技能1時限を実施します。
月 日	16 高度なバランス走行など ※ 小型限定は、「危険を予測した運転」前に実施 確認 次回みきわめが「良好」になるといよいよ卒業検定の申込です。検定料の用意をお願いします。
月 日	17 教習効果の確認（みきわめ）

大型二輪教習では、日付欄左側
普通二輪所持者は※と*付の項目を
小型二輪所持者は*付の項目を
修得済みとして教習を実施します。
事前に運転教本で予習してください。
（AT限定免許所持者も同じ）

お疲れさまでした。卒業検定の申込をしてください。

教習項目とワンポイントアドバイス

1 路上運転にあたっての注意と法規走行

- ・ 実際に一般道路を走行することはできません。一般道路では多くの危険が待ち受けています。二輪車は開放的なレジャー性の高い乗り物です。正しい交通法規を身につけ、楽しい乗り物としてください。

2 通行区分など

- ・ キープレフト（左寄り）を走るのが基本です。所内にはありませんが、路側帯の中や外側線の左側の通行は交通違反ですし、そのような場所での追い越しは特に危険です。

3 走行ポジションと進路変更

- ・ 進路変更の合図は3秒前です。確認の際ふらついたり、確認しながら進路が変わってしまわないよう注意してください。

4 交差点の通行（直進）

- ・ 交差点は特に事故の多い場所です。直進二輪車と、対向右折車の事故も多く見られ、直進だからといって他の自動車横のすり抜けは特に危険です。

5 交差点の通行（右折）

- ・ 右左折合図の時期は交差点の30m手前ですが、予め交差点の30m手前でセンターライン（50cm以内）または左に寄って（1m以内）から右左折します。この行為は進路変更です。従ってこのような場合30m+3秒前に合図をします。
- ・ 右折してすぐ左折等いろいろな場合がありますが、交通ルールに照らし、進路の取り方や合図の時機をいろいろ考えてみましょう。

6 交差点の通行（左折）

- ・ 二輪車は、他の交通から見落とされやすく、事故に結びつく可能性の高い乗り物です。特に交差点では、合図ばかりでなく、メリハリのある走行進路で意思表示してください。

7 見通しの悪い交差点の通行など

- ・ 交差点には、標識標示により優先関係が示されている交差点があります。逆優先の見通しの悪い交差点では徐行し、優先道路の場合でも、見落とされている可能性が高く、特に注意をしてください。

8 安全な速度と車間距離

- ・ 普通自動車に比べ二輪車の制動距離は、多く必要とします。急制動による転倒も多く、前車が急停止することを考え、十分に車間距離を取ったゆとりある運転をしてください。

9 カーブの安全走行

- ・ カーブを安全に走行するためには、カーブ手前の直線部分で十分速度を落とし、カーブの出口付近から緩やかに加速するスローインファストアウト走行してください。

技能教習 2 段階 ～ワンポイント 2

教習項目とワンポイントアドバイス

10 カーブの体感走行

- ・ 左カーブでは遠心力で対向車線に、右カーブでも、オーバースピードによるスリップ後グリップの急回復からおこるハイサイドにより対向車線に飛び出してしまうような重大事故を引き起こす可能性があります。

11 急制動

- ・ 数ある課題の中で特に転倒が多く、また高速で転倒するため、危険の多い課題です。最初は、遅いスピードでブレーキのタイミングや前ブレーキと後ブレーキの割合をつかんでください。なれてきたら、規定の速度と範囲で止まれるように練習します。発進後すみやかに規定の速度まで加速し、早めに安定した速度で走るのもコツです。

12 回避

- ・ 危険回避の原則はあくまでもブレーキですが、ハンドルとブレーキによる危険回避を体験程度に実施します。

13 ケース・スタディ（交差点）

- ・ 交差点は特に事故の多い場所です。また二輪車特有の事故も多くあります。交差点で起こる事故の特徴を知り、危険を事前に避けられる運転を身につけてください。

14 交通の状況及び道路環境に応じた運転

- ・ これまでの時間ではほぼ十分に乗りこなせるようになっているはずですが、今までの練習を基礎に一般市街地を想定し、総合的な練習してください。また苦手な課題があれば、その部分を集中して練習してください。

15 危険を予測した運転

- ・ シミュレーターによる技能教習とディスカッションの2時限連続でおこないます。運転は「認知」「判断」「操作」の繰り返しですが、特に、認知、判断により危険を的確に予測し、事前に危険を回避する能力を身につけてください。

16 高度なバランス走行など

- ・ ちょっと意地悪な悪路など体験します。
- ・ 波状路（大型二輪のみ課題）
不等間隔で設置した段差を立ち姿勢で通過します。目標時間は（5秒以上）です。ゆっくり通過することも大変ですが、段差路では、速度が速ければ通過しやすいともかぎりません。立ち状態での姿勢に注意して段差を全身で感じ、アクセルとクラッチの調和をはかり、段差を一つずつ乗り越えるようイメージしてください。

17 教習効果の確認（みきわめ）

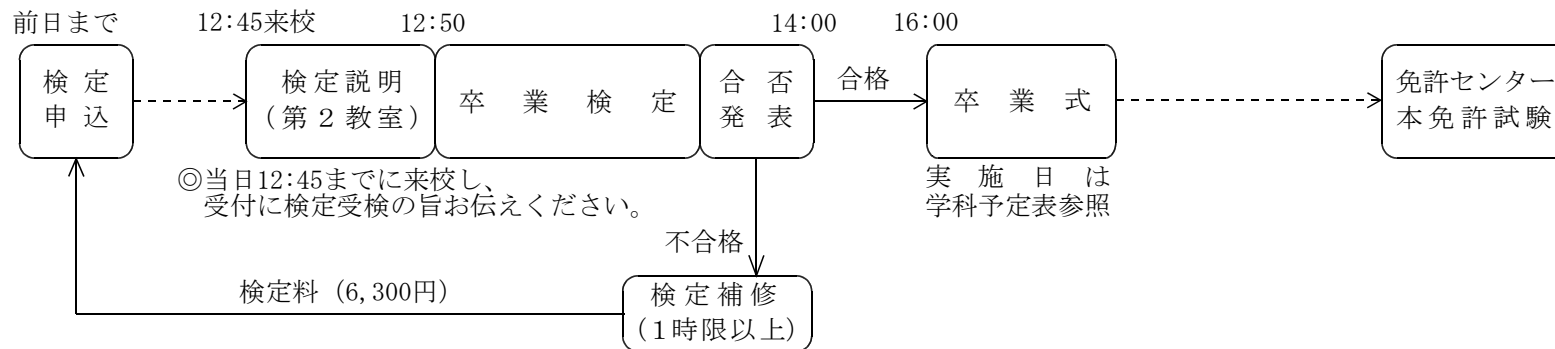
- ・ コース2で、技能1段階と2段階の課題を走行して総合的に確認します。
2段階のみきわめが「良好」になると、卒業検定を残すだけです。わからないことは遠慮なく質問してください。

技能教習予約

- みきわめが「良好」となったときに、他に当日の予約がある場合は、教習終了後速やかに申し出て下さい。自由教習（検定にまだ不安がある方は練習することができます。）を希望しない場合はキャンセル処理します。教習進度によるキャンセルのためキャンセル料は不要です。
- 翌日以降の予約は、検定申込をしない限りキャンセルにはなりません。自由教習で乗車しない場合は予約機でキャンセル処理して下さい。そのままにすると無断キャンセルの扱いとなり、キャンセル料がかかります。PM. 5:00以降予約機で翌日分の予約をキャンセルすると、キャンセル料がかかります。キャンセルする場合は係りにお申し出ください。
- 検定に不安があり自由教習を希望する場合の予約は通常の技能教習予約と同じ要領でお取り下さい。通常の技能教習料が必要です。検定当日の自由教習は法令により実施できません。
- 自由教習では卒業検定のための具体的なアドバイスを受けることができます。また、苦手な点などあれば担当指導員に遠慮なくお申し出ください。

卒業検定までの期限

- 技能教習 2 段階のみきわめが「良好」となった日から 3 ヶ月以内に卒業検定に合格しないと、教習はすべて無効となります。なるべく早く卒業検定を受けてください。



検定申込は、検定料6,300円が必要です。

希望検定日前日まで（定員になり次第締切）に申し込んでください。

- 卒業式は学科教習予定表の「卒業式」の時間に行います。始まる前に出欠の確認を取りますので遅刻すると受けられません。（予約の必要はありません）
- 印鑑（認印）、筆記具、アンケート用紙、および、住民票の有効期限が切れて卒業検定時に提出していない方は住民票（免許所持者を除く）をお持ちください。
- 卒業式で卒業証明書の授与を行います。あわせて免許センターでの受験要領について説明いたします。

卒業検定から卒業式までのスケジュール

卒業検定の受検資格

- 技能教習2段階のみきわめが「良好」となれば卒業検定の申込ができます。
- みきわめが「良好」となった日から、3ヶ月以内に卒業検定に合格しないと教習はすべて無効となります。早めに受検してください。

卒業検定の申込

- 卒業検定は臨時休校日を除き、土・日曜日は毎週、平日は隔日で実施しております。学科予定表「二輪卒検」で実施しております。集合時間はPM. 12:45で、PM. 2:00までには卒業検定が終わる予定です。
- 希望検定日の前日までに申込をしていただきますが、前日であっても申込者が定員になり次第締め切ります。みきわめが「良好」になったら、速やかに検定申し込みをしてください。
- 受検者が定員に満たない場合には、当日の申込で受検できることがありますので、受付にお問い合わせください。ただし、自由教習を含め技能教習を受けた日は、法令により卒業検定は受けられません。
- 会計係に卒業検定申込書が用意してあります。もれなく記入し、教習生カード、教習原簿と卒業検定料6,300円をお持ちのうえ、会計係で申し込んでください。フリー入金からのお支払いもできます。
- 検定予約の取消は検定日前日（前日が休校日の時は直近の営業日）のPM. 12:30までに連絡してください。それを過ぎると、連絡をいただいてもキャンセル料として検定料相当額を申し受けますので、注意してください。（前日が休校日の場合は、前営業日。）

卒業検定日当日

- 検定当日は教習生カード、筆記用具と印鑑（認印）をお持ちください。また、他種免許所持者は免許証をお持ちください。免許証を忘れると受検できませんし、キャンセル料がかかります。
- PM. 12:30まで来校し受付に卒業検定受検の旨お伝えください。検定説明は第2教室で行います。遅刻しそうなときや、当日急に都合が悪くなった場合は必ず連絡してください。時間に遅れると受検できません。また検定料相当額のキャンセル料もかかってしまいます。
- 服装や靴など運転に支障のない準備をしてください。ヘルメット、グローブの貸し出しはできません。
- 身体適性条件が眼鏡使用の方は、眼鏡またはコンタクトをつけないと受検できません。
- 他種免許のない方は、入校申込時に提出していただいた住民票の有効期間は交付日から6ヶ月です。免許センターで本免の試験を受ける際に期限が切れているものは、申請手続きができません。入校後6ヶ月近くが経過している方は卒業検定当日に本籍が記載された新しい住民票を提出してください。免許センター提出書類に添付します。なお、検定当日に間に合わないときは、卒業式の際に提出してもやむをえませんが、その場合は、書類をご自分で作成していただくこととなりますので、ご容赦ください。

卒業検定

～実施にあたって

～終わったら

卒業検定実施にあたって

- 技能検定は100点からの減点法で実施し、70点以上が合格です。
- 検定は乗車から降りるまでが採点の範囲（エンジンの始動停止を含む）です。発着点についてからといって安心せず最後まで気を引き締めて終わらせてください。
- 検定は、決められたコースを走行して実施します。コースを間違えても減点はありません。ただし、正しいコースにもどる間も採点の範囲になります。
- PM. 1:45頃全員の検定が終わります。合格発表は採点の後、第2教室で行います。
- 発表の後検定員がワンポイントアドバイスをを行います。合格した方は免許取得後の運転の参考に、残念ながら不合格の方は、補修教習や次回の卒業検定の参考にしてください。

卒業検定が終わったら

- 卒業検定合格者は会計係でSDカード（運転記録証明書交付申請書）に捺印していただくとともにアンケート用紙をお渡しします。卒業式出席の際にお持ちください。
- お預かりしたフリー入金、技能教習料のうち使わなかった金額は卒業式の前に払い戻しを行います。印鑑（認印）、教習生カードを持って会計係で精算してください。なお、キャンセル料等未払い分があればそのとき精算していただきます。残金のない方も精算書をお渡しします。
- 不合格の方は、1時限以上の補修教習を受けた後でないと次の卒業検定は受検できません、補修教習は窓口でできるだけ早い時期に受けられるようお取りします。ワンポイントアドバイスの後、受付においでください。
- 卒業検定の当日に卒業式を実施しているときは、なるべくその日の卒業式に出席するようにしてください。卒業式で卒業証明書の授与を行います。

卒業式の実施日

- 学科教習予定表の「卒業式」で行います。卒業式に予約の必要はありません。卒業式が始まる前に出欠の確認を取りますので遅刻すると出席できません。早めにおいでください。
- 卒業式には、印鑑（認印）、筆記用具、アンケート用紙（卒業検定合格後、会計係で配布）、住民票の有効期限が切れている方で卒業検定時に提出していない方は住民票（本籍記載、他種免許所持者は不要）をお持ちください。
- 卒業式で卒業証明書の授与を行います。また、本免許試験の受験に必要な書類をお渡しして内容を確認していただきます。
- 免許センターの受験要領について詳しくご案内します。
- 卒業証明書の有効期限は卒業検定合格日から1ヶ年（審査は3ヶ月）です。期限を過ぎるとすべて無効となります。
- 卒業証明書が卒業検定に合格したことの唯一の証明であり、それにより免許センターでの技能試験が免除されます。卒業証明書を紛失しないよう大切に管理してください。
- 卒業証明書を手にされた皆さんは、安全な運転者としての技能を十分身につけていただいておりますが、本免許試験に合格し免許証の交付を受けるまでに運転すると無免許運転となります。当校での教習がすべて無効となる場合がありますので、1日も早く運転免許証の交付を受けるようお願いいたします。

大変お疲れさまでした。

当校をご利用いただきありがとうございました。

法令の知識

自動二輪車を運転する場合、間違えやすい法令、違反行為となる事柄をまとめました。一般に運転しているみなさんの中にも、誤った解釈をしている場合が見受けられます。そのようなことで、交通違反とならないよう注意してください。

この章で記載した事柄が、自動二輪車にかかわる全ての事柄ではありません。不明な点、疑問があれば遠慮なくお問い合わせください。

自動二輪車の分類

- ・ 自動二輪車は、「車など」の「車（車輛ともいいます）」の大型自動二輪車、または、普通自動二輪車に分類されます。
「軽車両」とは、自転車やリヤカーなどをさすもので、自動二輪車は軽車両ではありません。
- ・ 「車輛通行止め」「車輛進入禁止」場所では、通行、進入をすることはできません。「軽車両を除く」の補助標識がある場合も同じです。
- ・ 「はみ出し追い越し禁止場所」「駐停車禁止場所」「駐車禁止場所」での行為も同様に処罰の対象です。車体が小さいので「良い」と言うことはありません。

運転免許の取消、停止など

- ・ 自動二輪車の違反により運転免許の取消、停止を受けた場合でも、その運転免許に対する処分であり、全ての車種が対象です。レジャーで乗ることの多い自動二輪で、他の車種が運転できなくなることがないように注意してください。

初心運転者期間

- ・ 大型二輪免許や普通二輪免許を取得してから1年の間を初心運転者期間といいます。
- ・ 初心運転者期間に違反点数が基準に達した人は、初心運転者講習が行われます。講習を受けなかったり、受講しても、その後初心運転者期間が終了するまでの間に、再び基準点数の違反をした場合、再試験が行われます。

再試験に合格しないと、初心運転者期間にかかる免許は取り消しされます。試験は、試験場で行う技能試験と同等です。合格の可能性は大変低いとお考えください。

※違反点数の基準 当該車種の違反合計点数が3点以上となった場合。

(1回の違反で3点を除く)

二人乗りの禁止

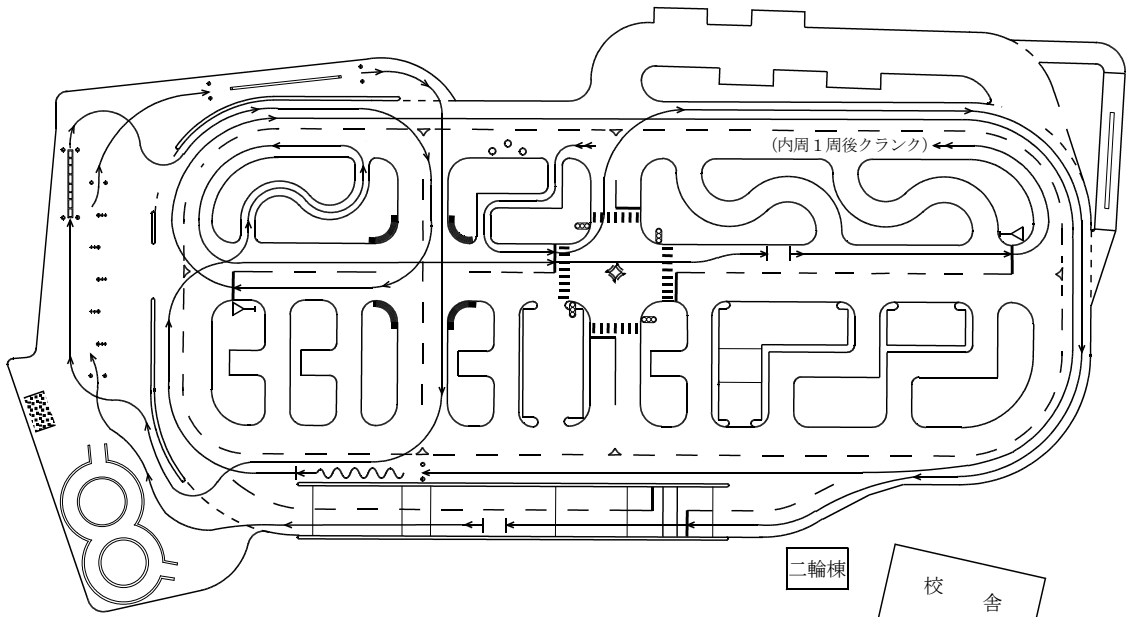
- ・ 二輪免許を取得して1年を経過していない人は、二人乗りができません。大型二輪免許の場合、普通二輪免許と合算できます。
- ・ 高速道路での二人乗りは、平成17年4月1日からできるようになりました。ただし、年齢が20歳以上で、大型二輪または普通二輪免許を受けていた期間が3年以上の者に限ります。
条件を満たさない者が二人乗り運転をした場合、10万円以下の罰金、1.2万円の反則金、2点の違反点数など厳しい罰則が科せられます。
- ・ 上記にかかわらず、二人乗り禁止標識のある区間での二人乗りはできません。首都高速の都心部のほとんどが禁止区間です。

高速道路の通行

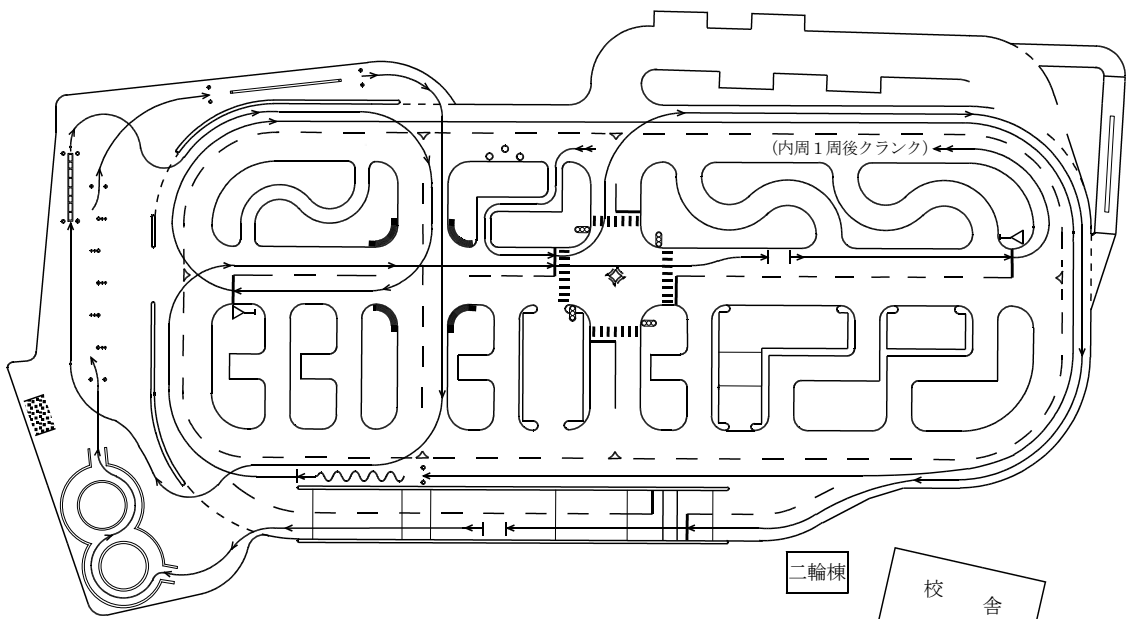
- ・ 高速道路とは、高速自動車国道と自動車専用道路をいいます。
- ・ 125cc以下の自動二輪車は、高速道路（高速自動車国道と自動車専用道路）を通行できません。（京葉道路は自動車専用道路です。）
- ・ 自動二輪車の高速自動車国道における最高速度は、100km/hです。中央分離帯のない区間は、一般道（60km/h）と同じです。（標識や標示で指定されている場合を除く。）
- ・ 自動車専用道路の最高速度は一般道路と同じ60km/hです。

車検と保険

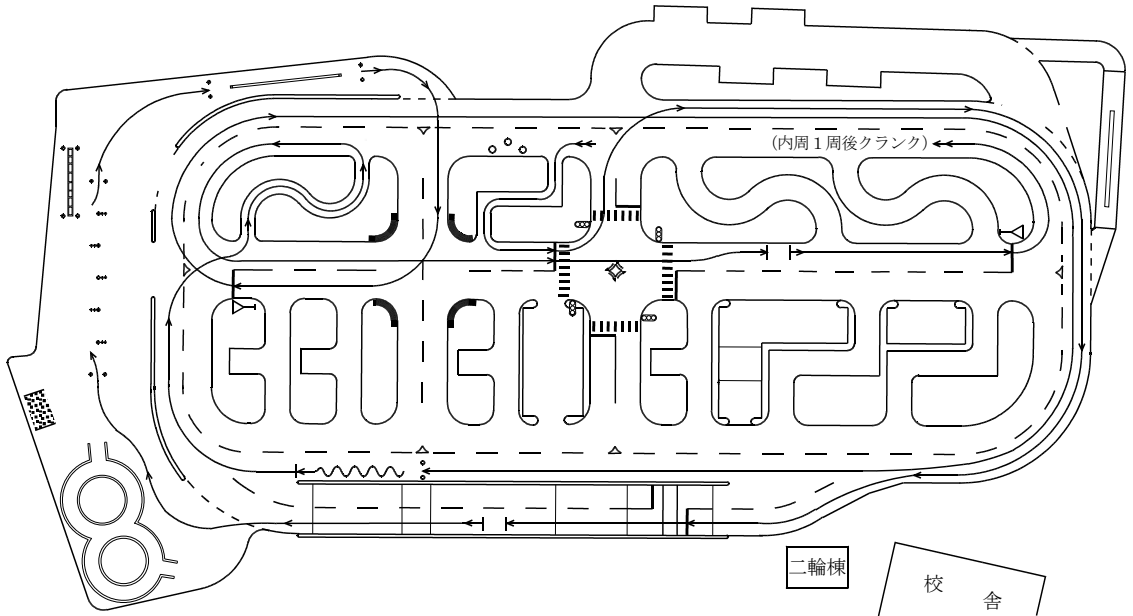
- ・ 大型二輪車及び普通二輪車（250cc以下を除く）は2年ごとに車検が必要です。有効な自動車検査証を受けているものでなければ、運転してはいけません。
- ・ 自動二輪車は自賠責保険（強制保険）に加入し、保険証を常に備え付けていなければいけません。（原動機付自転車も同様です。）
- ・ 人命尊重の立場などから損害賠償額は年々上昇しております。自動二輪車でも200Kg前後の重量があり、ひとたび事故を起こすと高額な損害賠償が発生します。自賠責保険（傷害最高120万、死亡最高3,000万）だけでは十分な賠償ができるとは限りません。すすんで任意保険に加入しましょう。



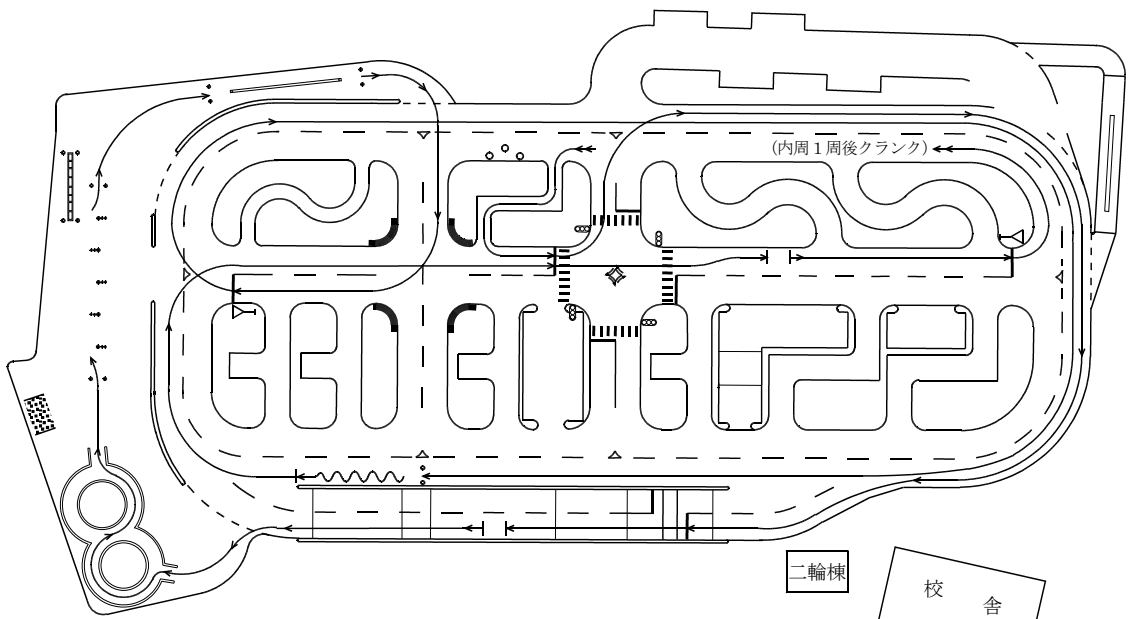
大型二輪 コース 1



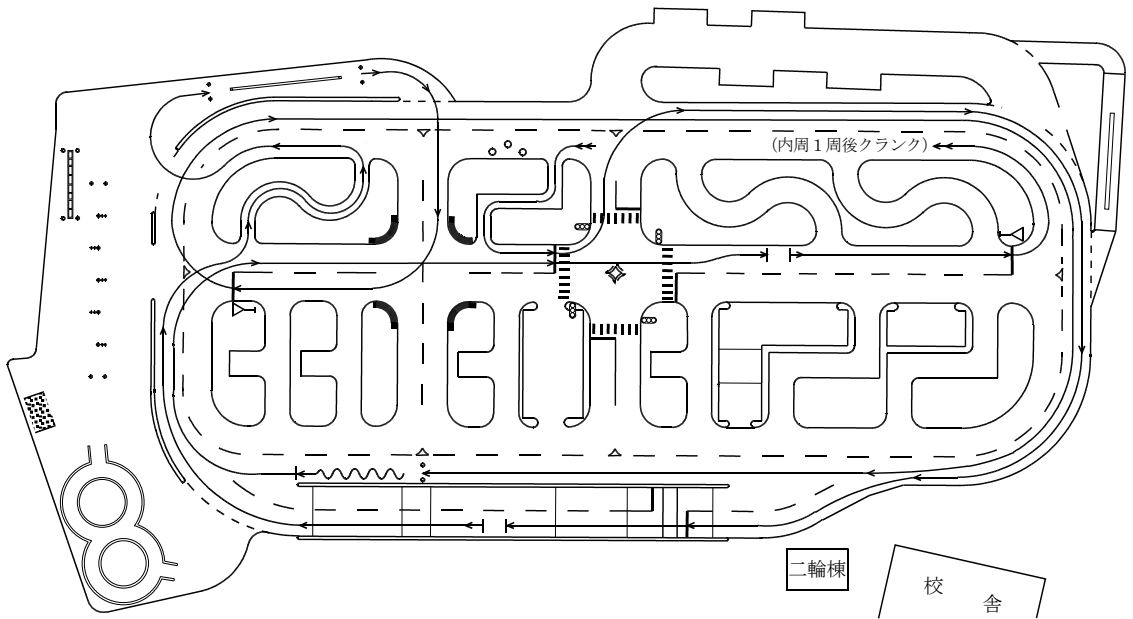
大型二輪 コース 2



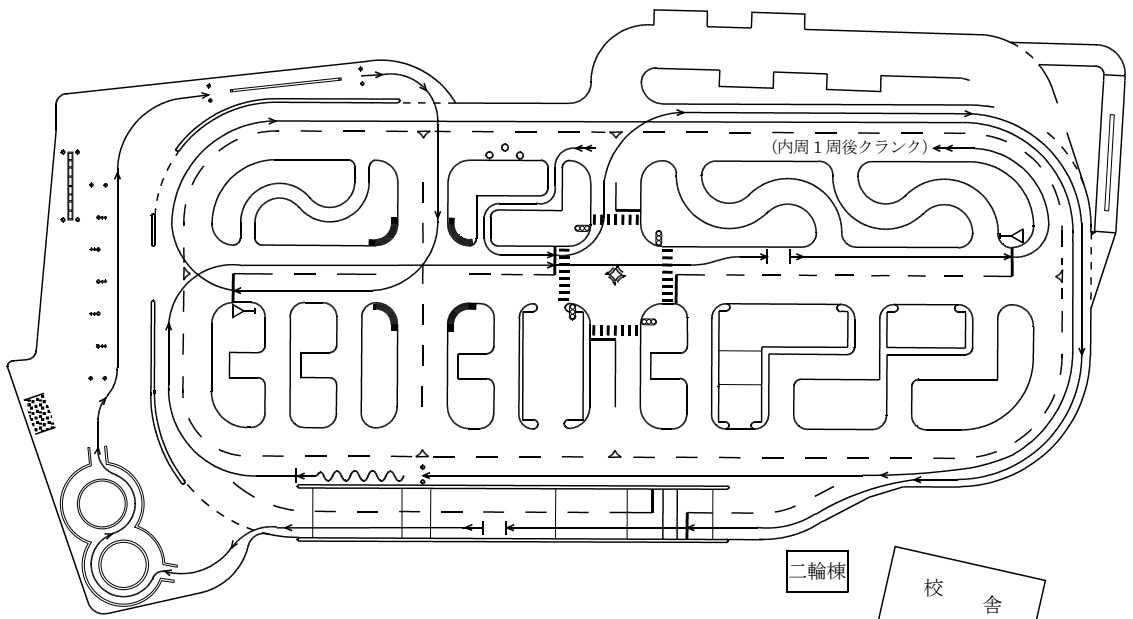
普通二輪 コース 1



普通二輪 コース 2



小型二輪 コース 1



小型二輪 コース 2

コース図
~コース図

